

木村家の製糸と全国製糸工場調査表

木村家は明治後期から昭和初期にかけて新若屋という屋号を商号として小規模な製糸工場を経営していた。木村家・新若屋の製糸製造の内容については、史料48、49の生糸製造帳ほか、史料50の新若屋で働いた元製糸工女の手紙から知ることができる。また、史料57の生糸販売用の商標からは自家製造の生糸を手広く販売していたことがわかる。このほか木村家文書には製糸工場のための煙突設置届なども存在する。

木村家・新若屋製糸場の規模はどのくらいなのかを知る史料がある。木村家文書の「文書往復綴 第五号」には、農商務省農政局の全国製糸工場調査のために作成された二つの表の控がある。一つの表の控は「足踏の部 製糸工場調」「右之通り廿八年七月廿八日役場へ差出ス」とあり、都市名から起業年月までが記載されている。この報告は第四次全国製糸工場調査表（明治四十年発行）に反映されて、同表の足踏（足踏式繰糸器）の部に掲載されている。もう一つの表の控は第六次全国製糸工場調査表（大正二年発行）に反映され、同表の器械製糸の部に掲載された。新若屋は明治三十七年（一九〇四）七月に起業し、釜数は一二釜、工女は繰糸一二人で、営業日数は二〇〇日であった。

全国製糸工場調査表は、明治二十八年（一八九五）に農商務省農政局が「本表は十人繰以上製糸工場の現況を知るの便に供せしがため調製」し発行したものである。明治二十八年の第一次から大正十五年（一九二六）の第十次までは農商務省農政局が発行し、昭和

四年（一九二九）の第十一次、昭和七年（一九三二）の第十二次は農林省蚕糸局が編纂し、全国蚕業同業組合聯合会が発行している。

木村家・新若屋製糸場の規模を知るために、本書では全国製糸工場調査表の第一次から第十二次までの新潟市、北蒲原郡、中蒲原郡、南蒲原郡、岩船郡に該当する部分を抽出して掲出した。なおこの表は縦組の表であるが、便宜上横組の表とした。各表の下部の「〔注〕」と欄外にある市町村名は、筆者が追記したものである。

本調査表により岩船郡内の製糸工場の規模や明治から昭和初期にかけての工場の推移を追うことができ、下越地域、新潟県内の製糸工場を俯瞰できる。さらには全国と比較した新潟県の製糸業・製糸工場の状況を把握することができる。ただし、調査票は十人繰以上の工場一覧なので、それ以下のものについては不明である。新潟県内の工場数を把握するには当時新潟県がまとめた新潟県統計書など『新潟県史』資料編一七 近代五 産業経済編Ⅰ（新潟県、一九八二年）に掲載）をみなければならない。

新若屋が掲載された第六次全国製糸工場調査表をみると、大正元年において木村家・新若屋製糸場は釜数、工女数ともに岩船郡の工場のうち最下位であることがわかる。岩船郡には釜数や工女数が一〇〇から二〇〇の規模の大きな製糸工場がある。木村家・新若屋製糸場は釜数一二で営業日数が二〇〇日であるが、繭使用高は釜数が四〇で営業日数一〇〇日の下海府村（現村上市）の寒川製糸工場と同じく、生糸生産額も同じである。本表により工女一人当りの生糸生産額を算出してみると、下越地域では村上町（現村上市）の越陽館、大川谷村（現村上市）の大川製糸場につぐ生産額であった。

木村家・新若屋製糸場は小規模経営ではあるが高い生産性があつたと思われる。

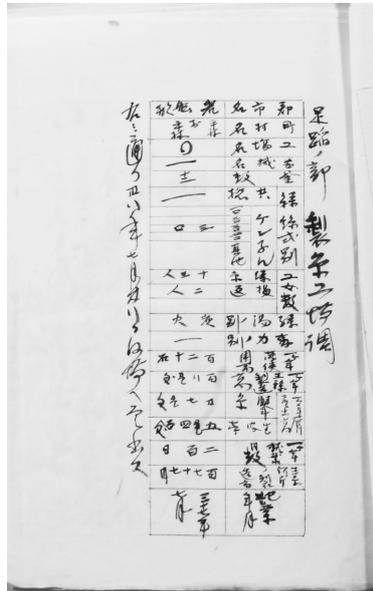
本表をみると、大正末期から昭和初期にかけて株式経営の片倉、大倉、信越などの規模の大きな製糸工場が下越地方に設立されていったことがわかる。また本表全体からみて中越・上越地域は企業体の数としては下越地域よりも多いが、小規模な工場が多い。反対に下越地域は数は少ないものの規模の大きな工場が多く、とくに大正末期から昭和初期にかけては、それが典型的な傾向をみせている。

長野県に本拠をおく片倉製糸は本書で紹介する史料59・60からわかるように、株式会社となる以前に新津駅前に片倉組事務所をおき、収繭活動をおこなっていた（支店は新潟市にもある。片倉組は大正九年（一九二〇）片倉製糸紡績株式会社となる）。また、片倉組は村上地域をはじめ下越地方で製糸工場として手頃な物件をさがしている、片倉組平林出張所の木村俊吉に調査を依頼している。木村俊吉を通じて村上町の有志も越陽館の片倉組への売却を模索していたが、修繕などに多額の費用がかかることを理由に頓挫していたことが、木村家文書の各種の史料からしるることができる（例えば、片倉組買入れは無理だが株式会社として開業すれば援助するという内容の大正三年十月三十日付関谷村伊藤忠吾宛片倉組浜泰平治書状⁽¹⁾）。片倉組や長野県に本拠をおく山丸組（越寿三郎、信越製糸株式会社社長）は、大正年間に収繭活動を下越地方で積極的におこなっていて、大規模工場が設立される以前から下越地方とはかかわりがあつたのである。

（矢田）

註

(1) 越陽館売却にかかわる史料としては、大正三年十月三十日付木村俊吉宛村上銀行書記書状（越陽館売却物件につき通知、建物平面図とも）、大正三年十一月五日付木村俊吉宛片倉組浜泰平治書状（越陽館建物買入につき当組主人片倉佐一殿、御地視察のこと）などがある。



足踏ノ部製糸工場調
（「文書往復綴第五号」）

足踏ノ部 製糸工場調	
岩船郡	郡市名
平林村平林	町村名
○	工場名
—	器械名
十二	釜数
—	共燃
一口	ケンネン
二口	
三口	
四口	
—	其他
十三人	繰糸
二人	揚返
炭火	繰湯ノ別
—	動力ノ別
百二十石	一ケ年繭使用高
百八貫匁	一ケ年生糸製造高
廿七貫匁	一ケ年屑産出高
五貫四百匁	
二百日	一ケ年就業日数
百七十七円	生糸何斤の製造高
三十七年七月	起業年月

右之通り廿八年七月廿八日役場へ差出す

第一次全国製糸工場調査表（明治28年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	起業年月	釜数（個）	繰湯の別	運転の別	繰巻の別	一ヶ年繭使用高（石）	一ヶ年生糸製造高（斤）	百斤に対する製造費（円）	
器械の部	北蒲原郡	中条町	須貝製糸場	明治15年6月	18	火気	水力	再繰	450	85		胎内市

第二次全国製糸工場調査表（明治31年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	釜数（個）	工女の数（人）	繰湯の別	運転の別	繰巻の別	一ヶ年繭使用高（石）	一ヶ年生糸製造高（斤）	一ヶ年屑物産出高（斤）	百斤に対する製造費（円）	起業年月	
器械の部	新潟市	新潟市	新潟製糸株式会社	50	40	蒸気	汽力	再繰	120	731	188	124	明治27年11月	新潟市
	北蒲原郡	荒橋村	三輪製糸株式会社	52	35	蒸気	水力	再繰	48	270	63	109	明治27年5月	新発田市
	北蒲原郡	中条町	須貝工場	18	20	焚火	水力	再繰	130	763	106	93	明治15年7月	胎内市
	北蒲原郡	中条町	廻工場	16	18	焚火	人力	再繰	100	563	94	87	明治13年8月	胎内市
	北蒲原郡	五十公野村	五十公野製糸所	60	60	蒸気	汽力	再繰	100	575	100	110	明治27年10月	新発田市
	中蒲原郡	五泉町	五泉共同製糸所	110	116	蒸気	汽力	再繰	400	1,972	608	116	明治29年5月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	村松合同製糸場	120	128	蒸気	汽力	再繰	400	2,250	500	100	明治29年6月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	鳳陽社	60	65	蒸気	汽力	再繰	150	800	188	96	明治27年6月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	真益社	70	76	蒸気	汽力	再繰	250	1,406	313	100	明治27年5月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	寶栄社	40	40	蒸気	汽力	再繰	28	169	31	88	明治27年5月	五泉市
	中蒲原郡	菅名村	菅名社	60	30	蒸気	汽力	再繰	100	500	31	140	明治29年7月	五泉市
	中蒲原郡	新関村	高井和一郎	64	68	蒸気	汽力	再繰	700	4,219	225	140	明治27年6月	五泉市
	南蒲原郡	加茂町	金子製糸場	20	20	蒸気	人力	再繰	76	450	100	125	明治29年6月	加茂市
	南蒲原郡	加茂町	浅間製糸場	23	23	蒸気	水力	再繰	152	900	200	125	明治29年6月	加茂市
	南蒲原郡	狭口村	笠原製糸場	70	70	蒸気	水力	再繰	550	3,375	756	125	明治28年3月	加茂市
	岩船郡	女川村	蛇喰器械	24	24	焚火	水力	再繰	30	178	45	104	明治26年5月	関川村
	岩船郡	金屋村	佐藤伊平製糸場	20	20	蒸気	汽力	再繰	144	810	188	150	明治29年7月	村上市
	岩船郡	中俣村	小俣製糸場	30	32	焚火	水力	再繰	55	291	87	89	明治26年5月	村上市
	岩船郡	川北村	須見総十郎製糸場	19	19	焚火	水力	再繰	30	172	50	106	明治20年4月	関川村
	岩船郡	村上本町	鮭産育養所製糸場	30	0	焚火	水力	再繰	0	0	0	0	明治20年7月	村上市
岩船郡	高根村	越陽館	30	30	蒸気	汽力	再繰	147	832	191	102	明治28年7月	村上市	
座繰の部	北蒲原郡	乙村	亀田勤一	12	14	焚火	人力	直繰	20	100	21	120	明治9年7月	胎内市
	北蒲原郡	五十公野村	村山製糸場	10	12	焚火	人力	再繰	20	100	24	80	明治21年7月	新発田市
	北蒲原郡	安田村	瀬崎加一郎	25	31	焚火	人力	再繰	83	441	93	96	明治23年6月	阿賀野市
	中蒲原郡	五泉町	塚野国松	10	12	焚火	人力	再繰	40	225	23	88	不詳	五泉市
	中蒲原郡	五泉町	伊藤仙太郎	20	25	焚火	人力	再繰	50	281	31	90	明治27年5月	五泉市
	中蒲原郡	五泉町	馬場岩作	15	18	焚火	人力	再繰	40	225	23	70	明治27年6月	五泉市
	中蒲原郡	五泉町	関川長吉	10	11	焚火	人力	再繰	40	225	23	85	明治27年6月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	斎藤倉次	15	15	焚火	人力	再繰	40	238	22	88	明治27年6月	五泉市
	中蒲原郡	新関村	高井和一郎	15	19	焚火	人力	再繰	100	563	144	100	明治27年6月	五泉市
	南蒲原郡	加茂町	番場製糸場	40	40	炭火	人力	再繰	180	956	128	105	明治29年6月	加茂市
	南蒲原郡	下条村	小柳卯八	15	15	炭火	人力	再繰	45	239	58	85	明治28年6月	加茂市
	南蒲原郡	狭口村	笠原製糸場	10	11	炭火	人力	再繰	12	62	19	107	明治28年3月	加茂市

(注) 中条町の須貝工場は須貝工場の誤り

第三次全国製糸工場調査表（明治35年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	釜数（個）	工女の数（人）	繰湯の別	動力の別	繰巻の別	一ヶ年繭使用高（石）	一ヶ年生糸製造高（斤）	一ヶ年屑物産出高（斤）	百斤に対する製造費（円）	起業年月	
器械の部	新潟市		新潟製糸株式会社	50	43	蒸気	汽力	再繰	250	1,688	338	160	明治27年11月	新潟市
	新潟市		境 興一郎	16	11	火気	人力	再繰	25	157	44	110	明治32年7月	新潟市
	北蒲原郡	京ヶ瀬村	貴船大三郎	15	17	火気	人力	再繰	18	113	26	128	明治22年6月	阿賀野市
	中蒲原郡	菅名村	菅名社	60	32	蒸気	水力	再繰	160	800	188	70	明治29年7月	五泉市
	中蒲原郡	五泉町	吉野館	150	157	蒸気	汽力	再繰	200	1,080	339	120	明治29年6月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	村松合同製糸場	120	128	蒸気	汽力	再繰	600	3,372	813	142	明治29年5月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	鳳陽社	60	65	蒸気	汽力	再繰	250	1,400	314	142	明治27年6月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	真益社	72	77	蒸気	汽力	再繰	250	1,500	350	125	明治29年5月	五泉市
	中蒲原郡	村松町	斎藤倉吉	10	11	火気	人力	再繰	20	113	25	130	明治19年5月	五泉市
	南蒲原郡	加茂町	加茂製糸館	50	55	火気	人力	再繰	400	2,530	750	140	明治26年6月	加茂市
	岩船郡	高根村	越陽館	70	70	蒸気	汽力	再繰	800	4,500	2,100	214	明治30年6月	村上市
	岩船郡	中俣村	小俣製糸場	30	30	火気	水力	再繰	40	300	100	130	明治26年6月	村上市
座繰の部	岩船郡	金屋村	佐藤製糸場	60	70	蒸気	汽力	再繰	600	3,750	719	112	明治29年7月	村上市
	岩船郡	八幡村	八幡製糸場	40	40	蒸気	水力	再繰	150	900	400	122	明治31年6月	村上市
	中蒲原郡	五泉町	塚野工場	15	17	火気	人力	再繰	70	63	18	90	明治33年6月	五泉市
	中蒲原郡	五泉町	伊藤仙太郎	12	14	火気	人力	再繰	60	54	17	90	明治33年6月	五泉市
	中蒲原郡	五泉町	藤井工場	13	15	火気	人力	再繰	70	63	18	90	明治33年6月	五泉市
	中蒲原郡	五泉町	吉田虎次郎	10	11	火気	人力	再繰	50	45	13	90	明治33年6月	五泉市

動力の別	一ヶ年繭使用高(石)	一ヶ年生糸製造高(斤)	一ヶ年屑物産出高(斤)	一ヶ年就業日数(日)	生糸百斤製造費(円)	起業年月	
水汽	47	275	94	70	115	明治37年7月	新発田市
水力	400	2,000	500	168	205	明治26年6月	村上市
水力	1,100	6,000	1,375	210	230	明治30年6月	村上市
水力	20	119	25	60	112	明治36年6月	村上市
水力	110	756	169	73	128	明治26年3月	村上市
汽力	500	2,813	625	150	160	明治29年6月	村松町
汽力	600	3,375	750	120	160	明治22年4月	村松町
汽力	220	1,238	275	105	160	明治27年6月	村松町
汽力	2,503	14,081	3,713	200	100	明治29年6月	五泉市
火力	120	675	50	200	177	明治37年7月	村上市

動力別	一ヶ年繭使用高(石)	一ヶ年生糸製造高(斤)	一ヶ年屑物産出高(斤)			一ヶ年営業日数(日)	生糸百斤製造費(円)	起業年月	
			鬘斗	生皮芋	其他				
汽水	219	1,300	275	50	63	130	128	明治37年7月	新発田市
汽	—	—	—	—	—	—	—	明治41年3月	阿賀野市
汽	—	—	—	—	—	—	—	明治41年7月	阿賀野市
汽	360	2,250	—	450	31	150	160	明治38年7月	五泉市
汽	5,000	30,000	6,725	775	—	300	128	明治29年6月	五泉市
汽	600	3,375	—	750	—	125	130	明治29年6月	村松町
汽	450	2,813	—	563	—	163	130	明治29年6月	村松町
汽	260	1,463	—	325	—	106	130	明治27年6月	村松町
汽	800	5,000	325	813	500	141	225	明治40年7月	新潟市
汽	1,200	7,000	948	313	—	215	230	明治30年6月	村上市
汽	100	688	125	156	106	70	112	明治40年6月	村上市
汽水	300	1,688	—	469	188	180	150	明治26年6月	関川村
水	100	625	125	25	31	65	170	明治26年3月	村上市
汽	799	5,106	—	1,375	500	251	200	明治40年4月	村上市

計	教婦数(人)	工男数(人)	繰湯別	動力別	繭使用高(石)	生糸産額(斤)	屑物高(斤)				営業日数(日)	生糸百斤製造費(円)	起業年月	備考
							鬘斗	生皮芋	其他	計				
123	2	2	蒸	汽	1,481	8,106	—	2,921	114	3,035	249	220	明治41年3月	阿賀野市
48	—	3	蒸	汽	638	3,589	—	1,004	—	1,004	290	107	明治37年7月	新発田市
114	1	5	蒸	汽	1,813	7,594	1,688	675	506	2,869	277	194	明治41年7月	加茂市
205	3	8	蒸	汽	2,369	13,963	2,150	2,331	331	5,012	170	250	明治41年6月	村上市
40	—	1	蒸	汽	300	1,875	—	363	—	563	240	150	明治26年7月	関川村
98	—	1	蒸	汽	1,080	6,750	—	1,500	94	1,594	235	180	明治39年12月	村上市
42	—	4	蒸	汽	140	788	175	63	63	301	60	130	明治26年3月	村上市
45	1	4	蒸	汽	180	1,188	300	31	125	456	75	121	明治40年6月	村上市
104	2	6	蒸	汽	369	2,306	631	—	288	919	140	230	明治30年6月	村上市
29	1	2	蒸	汽	150	843	213	44	13	270	100	160	明治44年8月	村上市
12	—	3	蒸	汽	150	843	156	—	94	250	200	160	明治37年7月	村上市
329	3	18	蒸	電	3,680	22,348	—	5,169	1,430	6,599	280	175	明治29年6月	五泉市
118	1	4	蒸	電	1,500	8,906	—	2,343	928	3,281	250	230	明治40年7月	新潟市
63	—	1	蒸	電	464	2,450	—	613	63	676	160	195	明治38年8月	五泉市
75	—	—	蒸	電	400	2,250	—	500	—	500	150	170	明治29年6月	村松町
127	1	—	蒸	電	600	3,375	—	780	—	750	141	170	明治26年6月	村松町
63	—	—	蒸	電	260	1,463	—	325	—	325	130	190	明治27年6月	村松町

第四次全国製糸工場調査表（明治40年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	器械の別	釜数	繰糸式別						工女数（人）		繰湯の別
						共燃	ケンネル					繰糸	揚返	
							一口	二口	三口	四口	其他			
器械の部	北蒲原郡	五十公野村	圓製糸場	木鉄	30	30	-	-	-	-	-	15	-	蒸汽
	岩船郡	女川村	蛇喰製糸場	木	60	-	-	-	60	-	-	50	3	蒸汽
	岩船郡	高根村	合資会社越陽館	木鉄	100	-	-	-	40	60	-	100	2	蒸汽
	岩船郡	黒川俣村	斎藤加一郎	木	13	-	-	-	13	-	-	13	-	火気
	岩船郡	中俣村	小俣製糸場	木	30	-	-	-	30	-	-	30	3	火気
	中蒲原郡	村松町	真益社	木鉄	60	-	-	-	60	-	-	72	3	蒸汽
	中蒲原郡	村松町	合同製糸場	木鉄	120	120	-	-	-	-	-	120	7	蒸汽
	中蒲原郡	村松町	鳳陽社	木鉄	60	60	-	-	-	-	-	60	4	蒸汽
中蒲原郡	五泉町	吉野館	鉄	200	-	200	-	-	-	-	200	10	蒸汽	
足踏の部	岩船郡	平林村	木内宇一郎	木	12	-	-	-	13	-	-	13	2	水汽

(注) 木内宇一郎は木村宇一郎の誤り

第五次全国製糸工場調査表（明治43年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	器械名	釜数	繰糸式別					工女数（人）			繰湯別
						共燃	ケンネル				繰糸	揚返	其他	
							一口	二口	三口	四口以上				
器械の部	北蒲原郡	五十公野村	角高製糸場	木鉄	32	-	-	32	-	-	32	2	5	蒸気
	北蒲原郡	水原町	水原製糸株式会社	木鉄	100	-	-	-	100	-	100	3	4	蒸気
	北蒲原郡	分田村	分田製糸場	木鉄	24	-	-	24	-	-	24	2	1	蒸気
	中蒲原郡	菅名村	菅名製糸場	鉄	78	-	-	78	-	-	72	2	6	蒸気
	中蒲原郡	五泉町	吉野館	鉄	278	-	-	278	-	-	278	12	-	蒸気
	中蒲原郡	村松町	鮎水館	木鉄	120	120	-	-	-	-	120	7	-	蒸気
	中蒲原郡	村松町	真益社	木鉄	72	-	-	72	-	-	72	4	-	蒸気
	中蒲原郡	村松町	鳳陽社	木鉄	60	60	-	-	-	-	60	3	-	蒸気
	中蒲原郡	亀田町	亀田製糸所	木鉄	100	-	-	100	-	-	100	4	10	蒸気
	岩船郡	高根村	合資会社越陽館	木鉄	119	-	-	-	119	-	119	-	-	蒸気
	岩船郡	大川谷村	大川谷製糸組合	木鉄	40	-	-	-	40	-	40	2	3	蒸気
	岩船郡	女川村	蛇喰製糸場	木鉄	60	-	-	-	60	-	30	2	2	蒸気
	岩船郡	中俣村	小俣製糸場	木鉄	40	-	-	-	-	40	40	2	1	蒸気
岩船郡	金屋村	金山製糸場	木	98	-	-	-	45	53	57	3	10	蒸気	
共同揚返所の部（器械）	郡市名	町村名	揚返所名	結合工場又は製糸者数	結合釜数	揚返窓数	揚返工女数	動力別	揚返生糸量（斤）	生糸百斤揚返費用（円）	起業年月			
岩船郡	中俣村	共同揚返所	40	40	30	2	水	625	5	明治26年3月	村上市			

第六次全国製糸工場調査表（大正2年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	所有者	器械別	釜数	繰糸式別					工女数（人）		
							共燃	ケンネル				繰糸	揚返	其他
								一口	二口	三口	四口以上			
器械の部	北蒲原郡	水原町	(第一製糸組) 水原製糸株式会社	水原製糸株式会社	木鉄	108	-	-	-	108	-	108	5	10
	北蒲原郡	五十公野村	五十公野製糸場	渡辺吉郎次	木	44	-	-	44	-	-	44	1	3
	南蒲原郡	加茂町	(第三製糸組) 一信組合加茂製糸場	加茂製糸場	木鉄	100	-	-	30	70	-	100	4	10
	岩船郡	村上町	(第二製糸組) 越陽館村上工場	海沼市蔵	木鉄	200	-	-	-	200	-	200	5	-
	岩船郡	女川村	蛇喰製糸場	山口栄吉	木	60	-	-	-	60	-	30	10	-
	岩船郡	金屋村	金山製糸場	宮坂今朝市郎	木鉄	98	-	-	1	44	53	95	3	-
	岩船郡	中俣村	小俣製糸場	佐藤庄兵衛外六十二名	木鉄	40	-	-	30	10	-	40	2	-
	岩船郡	大川谷村	大川製糸場	大川谷製糸組合	木鉄	40	-	-	-	40	-	40	2	3
	岩船郡	高根村	(第三製糸組) 越陽館	海沼市蔵	木鉄	100	-	-	-	100	-	100	4	-
	岩船郡	下海府村	寒川製糸場	齋藤太郎吉	木鉄	40	-	-	-	20	20	25	2	2
	岩船郡	平林村	新若屋	木村俊吉	木鉄	12	-	-	-	12	-	12	-	-
	中蒲原郡	五泉町	吉野館	吉田定五郎外二名	木	300	-	-	300	-	-	300	12	17
	中蒲原郡	亀田町	(第一製糸組) 亀田製糸所	代表者押木謙一郎	木鉄	100	-	-	-	100	-	105	6	7
	中蒲原郡	菅名村	菅名製糸場	松田縫治郎	木	78	-	-	78	-	-	60	2	1
	中蒲原郡	村松町	(第一製糸組) 真益社	加藤久五郎	木鉄	72	-	-	72	-	-	72	3	-
	中蒲原郡	村松町	鮎水館	玉木虎次郎	木鉄	120	120	-	-	-	-	120	7	-
	中蒲原郡	村松町	鳳陽社	田沢門七郎	木鉄	60	60	-	-	-	-	60	3	-
	共同揚返所の部	郡市名	町村名	工場名	共同揚返に加入せる工場又は製糸者数	共同に加入せる釜数	揚返窓数	揚返工女数	動力別	共同揚返生糸量	共同販売生糸量	生糸百斤揚返費用	起業年月	
	岩船郡	中俣村	小俣共同揚返所		63	40	14	2	水	788	-	7	明治40年7月	村上市
岩船郡	下海府村	寒川共同揚返所		7	35	20	3	汽	219	219	8	明治42年7月	村上市	

教婦数 (人)	工男数 (人)	繰湯別	動力の別	繭使用高 (石)	生糸産額 (斤)	屑物高 (斤)				営業日数 (日)	生糸百斤製造 費 (円)	起業年月	備考
						鬘斗	生皮苧	其他	計				
2	3	蒸	汽	1,700	10,000	-	1,875	-	1,875	220	198	明治41年 6月	阿賀野市
1	2	蒸	汽	630	3,375	-	750	-	750	250	110	明治27年 6月	新発田市
2	10	蒸	電	7,500	45,750	-	8,750	4,875	13,625	325	135	明治29年	五泉市
1	3	蒸	汽	1,540	12,690	-	2,530	-	2,530	284	175	明治40年 8月	新潟市
1	2	蒸	汽	700	3,938	1,000	-	-	1,000	160	170	明治42年 4月	村松町
1	4	蒸	汽	800	4,500	-	1,150	-	1,150	220	170	明治46年 6月	村松町
1	2	蒸	汽	500	2,813	-	719	-	719	150	170	明治27年 6月	村松町
1	7	蒸	汽	1,800	11,250	-	2,250	1,000	3,250	250	140	明治41年 2月	加茂市
-	10	蒸	汽	1,200	6,600	-	1,740	16	1,752	260	180	明治41年 1月	村上市
-	3	蒸	汽	250	1,400	42	135	45	220	240	150	明治26年 4月	関川村
1	5	蒸	汽	100	530	30	140	20	190	60	160	明治44年 7月	村上市
-	2	蒸	水	92	522	120	-	-	120	44	165	明治26年 3月	村上市

計	営業日数	生糸百斤製 造費 (円)	起業年月	備考
82	90	80	明治30年 6月	加茂市
135	120	70	明治25年 7月	三条市
63	80	70	明治42年 7月	見附市
71	80	80	明治37年 7月	三条市

(人)		工男数 (人)	技術者数 (人)		繰湯別熱	動力別	繭使用高 (石)	生糸産額 (斤)	屑物高 (斤)	営業日数 (日)	生糸百斤製 造費 (円)	乾繭器種別	煮繭器種別	起業年月	備考	
其他	計		技師	教婦												
-	48	1	-	1	蒸	電	100	5,941	890	280	162	-	煮鍋中野式	明治37年 7月	大正5年より工場主変更	新発田市
10	123	4	-	1	蒸	電	1,500	8,000	2,500	300	350	林式火熱間接	煮鍋中野式	明治41年 3月	大正6年前佐藤友右衛門 所有	阿賀野市
13	160	10	-	2	蒸	電	3,700	22,660	5,665	280	253	今村式汽熱	煮鍋中野式	明治29年 6月		五泉市
7	135	6	-	1	蒸	電	2,310	14,000	2,800	280	255	林式間接火熱	陶器釜	明治40年 8月		新潟市
6	94	7	-	1	蒸	汽	1,860	11,250	2,925	260	260	林式間接火熱	中野式	明治28年 6月		村松町
3	72	6	-	1	蒸	電	1,206	7,310	1,827	270	260	炭火直接	中野式	明治28年 3月		村松町
3	63	5	-	1	蒸	汽	670	4,000	1,080	260	265	炭火直接	中野式	明治27年 6月		村松町
3	52	4	-	1	蒸	汽	828	5,000	1,270	270	255	炭火直接	中野式	明治38年 6月		村松町
20	126	10	-	1	蒸	汽	1,360	8,500	210	300	230	火熱間接	兼業	明治40年 4月		加茂市
3	45	4	-	1	蒸	水	250	1,400	280	100	150	林式	鍋煮	明治26年 5月		村上市
1	42	5	-	1	蒸	汽	250	1,400	490	143	180	外焚多管式	鍋煮	明治44年 7月		村上市
3	267	18	-	2	蒸	電	3,600	22,500	2,900	300	180	林式土室	中原式	大正5年 3月		村上市

工男数 (人)	現業員又は 検査数 (人)	技術者数 (人)		繭使用高 (貫)	生糸産額 (貫)			屑物高 (貫)	作業日数 (日)	生糸百斤製 造費 (円)	起業年月日	備考
		技師	教婦		浮繰	沈繰	計					
8	1	-	1	35,000	-	3,330	3,330	963	285	400	大正9年 5月	阿賀野市
54	6	1	3	110,000	-	10,223	10,223	1,735	332	400	大正8年 7月	新発田市
2	2	-	1	3,420	-	342	342	76	160	280	明治20年 7月	新発田市
-	-	-	1	6,000	-	640	640	186	200	320	明治38年 4月	村松町
10	1	-	1	25,638	-	2,670	2,670	767	275	450	明治41年 5月	加茂市
23	3	-	3	105,000	-	10,500	10,500	2,500	300	380	大正5年 3月	村上市

第七次全国製糸工場調査表（大正5年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	所有者	器械別	釜数	繰糸式別					工女数（人）			
							共燃	ケンネル				繰糸	揚返	其他	計
								一口	二口	三口	四口以上				
器械の部	北蒲原郡	水原町	水原製糸場	佐藤友右衛門	木鉄	108	-	-	-	108	-	95	4	3	102
	北蒲原郡	五十公野村	五十公野製糸場	渡辺吉五郎	木鉄	44	-	-	44	-	-	48	1	-	49
	中蒲原郡	五泉町	吉野館	吉田定五郎	木	330	-	-	330	-	-	330	11	13	354
	中蒲原郡	亀田町	亀田製糸場	亀田製糸場	木	100	-	-	-	-	-	93	4	10	107
	中蒲原郡	村松町	鮎水館	丹羽義利外四名	木鉄	120	120	-	-	100	-	120	4	-	124
	中蒲原郡	村松町	真益社	加藤久五郎外二名	木鉄	72	-	-	72	-	-	72	3	-	75
	中蒲原郡	村松町	鳳陽社	田沢門七郎外三名	木鉄	60	60	-	-	-	-	60	3	-	63
	南蒲原郡	加茂町	加茂製糸場	番場友吉外七名	木鉄	100	-	-	100	-	-	100	5	15	120
	岩船郡	金屋村	金山製糸場	宮坂今朝一郎	木	114	-	-	-	54	60	114	6	-	120
	岩船郡	女川村	蛇喰製糸場	山口高之丈	木	60	-	-	-	60	-	20	1	2	23
	岩船郡	大川谷村	布屋製糸場	本間治右衛門	木鉄	40	-	-	-	40	-	40	1	1	42
岩船郡	中俣村	小俣製糸場	小俣製糸組合	木鉄	40	-	-	30	10	-	40	2	-	42	
足踏の部	郡市名	町村名	工場名	所有者	釜数	工女数				繰湯別	繭使用高（石）	生糸産額（斤）	屑物高（斤）		
	繰糸	揚返	其他	計	繰糸	沈繰	繰糸	揚返							
	南蒲原郡	加茂町	-	本間元吉					10	10	1	2	13	火	45
	南蒲原郡	大崎村	-	松崎熊市	10	10	1	1	12	火	72	450	-	90	45
	南蒲原郡	見附町	-	岩崎繁次郎	10	10	1	1	12	火	40	225	-	40	23
南蒲原郡	鹿畔村	-	弥久保菊蔵	10	10	1	2	13	火	40	225	-	48	23	
共同荷造所の部	郡市名	町村名	共同荷造所名	共同二加入セル工場又ハ製糸者数	共同に加入セル釜数	共同荷造生糸量（斤）	生糸百斤荷造費用	起業年月日							
	中蒲原郡	五泉町	有限責任越後生産販売組合第三製糸組五泉支所	11	580	47,900	5	大正4年8月	五泉市						

第八次全国製糸工場調査（大正8年 農商務省農務局発行）

	郡市名	町村名	工場名	所有者	釜数	揚返窓数	繰糸式別					繰糸法別釜数			工女数	
							共燃	ケンネル				浮繰	沈繰	繰糸	揚返	
								二口	三口	四口	五口以上					
器械の部	北蒲原郡	五十公野村	▲有限責任五泉生産販売組合越後製糸五十公野製糸場	田中甚十郎	60	40	-	-	60	-	-	-	60	45	3	
	北蒲原郡	水原町	▲水原製糸場	今井長十郎	108	60	-	-	108	-	-	-	108	108	5	
	中蒲原郡	五泉町	▲吉野館	吉田定五郎	140	69	-	-	140	-	-	-	140	140	7	
	中蒲原郡	亀田町	▲亀田製糸場	池田正平	100	70	-	-	100	-	-	100	-	120	6	
	中蒲原郡	村松町	▲鮎水館	玉木虎次郎	80	75	-	-	80	-	-	-	80	80	8	
	中蒲原郡	村松町	▲真益社	加藤久三郎	65	36	-	-	63	-	-	-	65	65	4	
	中蒲原郡	村松町	▲鳳陽社	田沢門七郎	60	34	-	60	-	-	-	-	60	56	4	
	中蒲原郡	菅名村	▲菅名製糸場	岡村勝章	50	30	-	-	50	-	-	-	50	45	4	
	南蒲原郡	加茂町	一信組合加茂製糸場	番場友吉	100	60	-	100	-	-	-	100	-	100	6	
	岩船郡	中俣村	太陽館	佐藤庄兵衛	40	14	-	30	10	-	-	-	40	40	2	
	岩船郡	大川谷村	大川谷製糸場	本間治郎左衛門	40	20	-	-	40	-	-	-	40	40	1	
岩船郡	女川村	田代製糸場	田代彦七	310	132	-	60	250	-	-	-	310	255	9		
共同荷造所の部	郡市名	町村名	共同荷造所名	共同荷造に加入せる工場数	共同荷造に加入せる釜数	職工数（人）	共同荷造生糸量（斤）	生糸百斤荷造費用（円）	起業年月日							
	中蒲原郡	五泉町	有限責任五泉生産販売組合越後製糸組	8	670	13	96,190	8	大正4年8月	五泉市						

(注) ▲は生糸共同荷造所に加入していることを表す

第九次全国製糸工場調査（大正12年 農商務省農務局編纂、蚕糸業同業組合中央会発行）

	郡市名	町村名	工場名	所有者又は代表者名	企業組織	釜数				緒数	揚返窓数	工女数（人）			
						浮繰	沈繰	半繰沈	計			繰糸	揚返	其他	計
												職工数（人）	共同荷造生糸量（貫）	生糸百斤荷造費用（円）	起業年月日
器械の部	北蒲原郡	水原町	山崎製糸場	山崎忠蔵	合名会社	-	130	-	130	3	94	130	10	15	155
	北蒲原郡	新発田町	株式会社大倉製糸工場新発田製糸所	清水中四郎	株式会社	-	400	-	400	4	240	400	24	59	483
	北蒲原郡	五十公野村	五十公野製糸場	田中甚十郎	個人	-	30	-	30	3	10	23	2	2	27
	中蒲原郡	菅名村	菅名製糸場	岡村振作	個人	-	40	-	40	3	30	40	3	5	48
	南蒲原郡	加茂町	加茂製糸場	山崎佐忠治	個人	-	100	-	100	2	50	100	6		106
	岩船郡	村上町	田代製糸場	田代彦七	個人	-	300	-	300	3	136	250	23	15	281
共同荷造所の部	郡市名	町村名	共同荷造所名	共同荷造に加入せる工場数	共同荷造に加入せる釜数	職工数（人）	共同荷造生糸量（貫）	生糸百斤荷造費用（円）	起業年月日						
	北蒲原郡	水原町	有限責任五泉生産販売組合越後製糸組	6	500	13	9,450	9	大正4年8月	(新発田市)					

(注) 「共同荷造所の部」の郡市名・町村名は中蒲原郡、五泉市の誤りと思われる

現業員又は検番数(人)		技師数(人)	繭使用高(貫)	生糸産額(貫)					屑物高(貫)	作業日数	生糸百斤生産費(円)	一釜当り生産高(欄)	起業年月	備考	
				浮繰		沈繰		計							
				輸出	地遣	輸出	地遣								
男	女														
14	9	-	135,240	-	-	13,687	82	13,769	2,652	330	523	3.3	大正7年7月	御法川式20緒176台索緒分業	新発田市
1	2	-	72,250	-	-	3,084	3,800	6,884	2,571	307	400	2.5	明治32年7月		阿賀野市
1	1	-	6,000	-	-	-	540	540	90	300	250	3.0	明治20年7月		新発田市
1	-	-	12,300	1,230	-	-	-	1,230	252	160	360	1.7	大正13年6月		五泉市
1	1	-	10,500	-	-	-	1,031	1,031	315	195	380	2.6	大正13年8月		五泉市
1	1	-	36,497	-	-	327	3,775	4,102	1,231	312	385	4.5	明治41年6月		加茂市
3	3	-	110,000	-	-	8,800	2,200	11,000	2,500	300	380	4.0	大正5年3月		村上市
1	-	-	8,750	-	-	-	910	910	260	252	300	3.0	大正13年8月		村上市

数(人)			技術者数(人)	繭使用高(貫)	生糸生産数量(貫)			屑物高(貫)	作業日数(日)	一釜当り生産高(欄)	目的織度生糸格	起業年月	備考
女	男	女			輸出	地遣	計						
485	2	2	2	125,241	11,701	755	12,456	2,569	339	3.3	14中70円高	大正8年6月	新発田市
15	-	-	-	2,000	-	200	200	40	300	1.6	21中	昭和1年6月	新発田市
40	1	1	-	15,000	-	1,500	1,500	220	270	4.2	21中矢烏格	明治27年7月	新発田市
13	1	-	-	2,700	-	270	270	45	270	2.3	21中最優	大正14年7月	新発田市
160	2	2	1	43,000	-	4,400	4,400	850	300	3.3	21中10円高	昭和2年7月	阿賀野市
213	2	2	2	54,400	4,350	1,090	5,440	1,020	186	3.1	21中100円高	昭和2年11月	五泉市
70	1	1	-	25,000	1,600	1,100	2,700	600	325	4.2	21中60円高	大正13年6月	五泉市
43	-	-	-	10,000	-	1,050	1,050	250	300	2.9	17中最優	大正13年8月	五泉市
98	1	1	-	40,000	1,600	2,500	4,100	500	287	4.4	21中80円高	昭和2年3月	加茂市
70	1	1	-	18,000	-	1,800	1,800	270	300	3.0	21中最優	大正13年8月	村上市
560	18	1	1	160,000	15,780	160	15,940	1,950	300	3.5	14中100円高	昭和2年2月	村上市

新発田市

技術者数(人)	繭使用高(貫)	生糸生産数量(貫)			屑物高(貫)	作業日数(日)	一釜当り生糸生産数量(欄)	目的織度糸格	起業年月	備考	
		輸出	地遣	計							
-	2,200	-	216	216	25	269	1.6	16中地遣	大正5年6月	内地機屋取引 1,288斤 95.4%	新発田市
-	2,000	-	205	205	50	250	1.9	21中地遣	昭和2年6月		新発田市
-	4,800	-	495	495	70	300	3.2	21中地遣	昭和3年7月	全部内地機屋取引	新発田市
-	2,000	-	210	210	50	150	1.5	17中地遣	昭和3年7月		新発田市
1	48,996	2,558	2,663	5,221	1,450	333	4.2	21中83点	大正13年6月	御法川式(直繰)28釜、乾繭取引 12,054貫(生繭重量)24.6%、内地機屋取引 16,557斤51.0%	五泉市
-	9,200	-	949	949	250	250	3.1	21中地遣	昭和3年5月		五泉市
-	13,760	-	1,417	1,417	390	315	3.5	21中85点	大正13年8月	工場設備賃借	五泉市
1	44,920	1,642	3,185	4,827	1,524	308	5.4	21中83点	昭和2年2月	内地機屋取引 19,048斤 66.0%	加茂市
-	10,500	198	875	1,073	302	250	3.1	21中85点	昭和4年6月		村上市
-	7,200	-	756	756	197	80	1.2	21中85点	昭和6年3月	工場設備賃借	村上市
...	大正13年8月	工場主死亡廃業につき不詳(昭和6年3月)	村上市
6	159,089	14,195	1,102	15,297	3,472	311	3.7	14中87点 21中82点	大正8年6月	御法川式(再繰)108、特約取引 13,000貫8.0%	新発田市
1	75,100		7,886	7,886	2,538	330	5.8	21中85点	昭和2年5月	筒井式148釜索緒分業 索緒工受持5釜 全部内地機屋取引	阿賀野市
1	55,495	4,681	1,437	6,118	1,334	315	5.0	21中85点	昭和5年2月	織田式自動索緒器136、特約取引 23,940貫43.7%、正量取引 30,800貫56.3% 直輸出 29,132斤76.5%、内地機屋取引 9,000斤23.5%	五泉市
1	136,640	12,823	4,050	16,873	5,550	311	5.2	21中85点	昭和2年11月	片倉式自動索緒器360、特約取引 23,440貫17%、直輸出 77,174斤76.2%、内地機屋取引 23,980斤23.8%	五泉市
1	153,000	14,880	495	15,375	3,050	312	3.7	14中80点 21中83点	昭和2年2月	内地機屋取引 3,094斤3%	村上市

業浮繰、●は煮繰分業沈繰を示せり」

第十次全国製糸工場調査（大正15年 農林省農務局編纂 蚕糸業同業組合中央会発行）

	郡市名	町村名	工場名	所有者又は代表者名	企業組織	釜数					緒数	揚返窓数	職工数（人）	
						煮練分業		煮練兼業		計			男	女
						浮練	沈練	浮練	沈練					
器械の部	北蒲原郡	新発田町	株式会社大倉製糸工場新発田製糸場	社長大倉喜八郎	株式	-	462	-	-	462	4,731	240	38	569
	北蒲原郡	水原町	山崎製糸合名会社	山崎忠藏	合名	-	200	-	-	200	800	90	9	211
	北蒲原郡	五十公野村	五十公野製糸場	長谷川寅次郎	個人	-	20	-	-	20	60	8	2	25
	中蒲原郡	村松町	村松製糸場	佐々木五郎	個人	74	-	-	-	74	250	57	3	63
	中蒲原郡	菅名村	株式会社菅名製糸場	岡村振作	株式	-	45	-	-	45	160	50	2	50
	南蒲原郡	加茂町	合資会社加茂製糸場	山崎佐忠治	合資	-	100	-	-	100	350	60	6	93
	岩船郡	村上町	田代製糸場	田代彦七	個人	-	300	-	-	300	900	126	22	310
	岩船郡	村上町	藤製糸場	藤房吉	個人	-	30	-	-	30	90	16	3	32

第十一次全国製糸工場調査（昭和4年 農林省蚕糸局編纂、蚕糸業同業組合中央会発行）

	郡市名	町村名	工場名	所有者又は代表者名	企業組織	設備釜数	繰糸法別使用釜数				緒数	揚返窓数	職工		
							煮練分業		煮練兼業					計	男
							浮練	沈練	浮練	沈練					
器械の部	北蒲原郡	新発田町	大倉製糸株式会社	社長大倉喜八郎	株式	421	100	321	-	-	421	1,780	240	58	
	北蒲原郡	新発田町	増田製糸場	増田マキ	個人	14	-	-	14	-	14	42	6	-	
	北蒲原郡	五十公野村	長谷川製糸場	長谷川寅次郎	個人	60	-	40	-	-	40	120	40	5	
	北蒲原郡	五十公野村	渡力製糸場	渡辺兼武	個人	20	13	-	-	-	13	42	20	3	
	北蒲原郡	水原町	近藤製糸株式会社	社長近藤藤三郎	株式	148	-	148	-	-	148	712	90	8	
	中蒲原郡	村松町	片倉越後製糸株式会社	社長片倉三平	株式	195	195	-	-	-	195	975	192	27	
	中蒲原郡	村松町	村松製糸場	佐々木五郎	個人	70	55	-	-	-	55	220	60	4	
	中蒲原郡	菅名村	株式会社菅名製糸場	社長岡田振作	株式	47	-	40	-	-	40	160	20	3	
	南蒲原郡	加茂町	今井製糸場	今井良松	個人	100	-	95	-	-	95	380	60	4	
	岩船郡	村上町	藤製糸場	藤房吉	個人	60	-	60	-	-	60	240	40	5	
岩船郡	村上町	信越製糸株式会社村上工場	社長越寿三郎	株式	506	506	-	-	-	506	2,024	330	37		
座繰の部	北蒲原郡	新発田町	広岡製糸場	広岡元行	釜数	揚返窓数	職工数（人）		繭使用高（貫）	生糸産額（貫）	屑物高（貫）	作業日数（日）	起業年月	備考	
							男	女							
					14	6	-	10	1,550	160	22	280	大正5年6月		

第十二次全国製糸工場調査（昭和7年 農林省蚕糸局編纂、全国製糸業組合联合会発行）

企業組織	郡市名町村名	工場名	所有者又は代表者名	設備釜数	使用釜数		設備緒数		揚返窓数	職工数（人）		作業監督者数（人）	
					総数	内課	総数	内課		男	女	男	女
個人	北蒲原郡新発田町	広岡製糸場	広岡元行	17	15	○15	153	3緒繰17釜	8	1	17	-	-
個人	北蒲原郡新発田町	増田製糸場	増田マキ	17	12	●12	272	4緒繰17釜	8	1	12	-	-
個人	北蒲原郡五十公野村	丸二製糸場	岡本健次	17	17	●17	272	4緒繰17釜	8	1	19	-	-
個人	北蒲原郡安田村	浅間製糸場	浅間福太郎	20	16	○16	320	4緒繰20釜	10	2	17	-	-
個人	中蒲原郡村松町	村松製糸場	佐々木五郎	142	125	○125	13,150	4緒繰100釜/ 5緒繰14釜/ 20緒繰28釜	88	10	159	3	1
個人	中蒲原郡村松町	石製糸場	吉井栄作	50	34	○34	800	4緒繰50釜	20	3	36	1	-
個人	中蒲原郡菅名村	菅名製糸場	近藤藤三郎	50	45	●45	800	4緒繰50釜	30	3	48	1	-
個人	南蒲原郡加茂町	今井製糸場	今井良松	100	90	●90	1,600	4緒繰100釜	60	12	132	-	1
個人	岩船郡村上町	入喜製糸場	矢部喜平	38	38	○38	950	5緒繰38釜	24	7	38	-	-
個人	岩船郡村上町	◎製糸場	丸茂米重	80	70	○70	1,280	4緒繰80釜	50	7	75	1	-
個人	岩船郡村上町	藤製糸場	藤房吉	128	-	-	2,048	4緒繰128釜	70
株式会社	北蒲原郡新発田町	株式会社大倉製糸場新発田工場	社長 門野重九郎	492	456	○456	52,776	4緒繰76釜/ 5緒繰248釜/ 6緒繰60釜/ 20緒繰108釜	300	35	560	11	3
株式会社	北蒲原郡水原町	株式会社近藤製糸場水原工場	社長 近藤藤三郎	148	148	●148	6,700	5緒繰148釜	114	12	189	1	2
株式会社	中蒲原郡五泉町	株式会社片倉共栄製糸場五泉工場	社長 片倉三平	136	136	○136	4,896	6緒繰136釜	80	13	150	2	-
株式会社	中蒲原郡村松町	株式会社片倉越後製糸場村松工場	社長 片倉三平	360	360	○360	9,000	5緒繰360釜	192	15	410	4	2
株式会社	岩船郡村上町	株式会社信越製糸場村上工場	社長 益田藤三郎	462	462	○462	10,267	4緒繰277釜/ 5緒繰75釜/ 6緒繰110釜	300	45	508	4	1

(注)「第十二次全国製糸工場調査」の凡例によると「釜数は連続する繰糸槽に在りては工女一人の平均受持緒数を一釜と看做し換算せり、尚使用釜数欄の○印は煮練兼業浮練、●印は煮練兼業沈練、◎印は煮練分

本書は「地域連携による地域文化保全・再生プロジェクト」(学長裁量経費(将来構想実現促進費))の成果の一部である。

木村家の蚕糸業 養蚕・蚕種・製糸

二〇一八年三月三〇日

編者 飯島康夫・中村 元

発行者 新潟大学人文学部附置地域文化連携センター

〒九五〇―二二八一 新潟市西区五十嵐二の町八〇五〇番地

